

共生の街づくり バリアフリータウンチェック状況

H28.03.05 12:45~16:00

実施グループ	肢体障害グループ(8名)
当 事 者	山本 浩人、岩崎 大輔、小西真由美
ボランティア	俵 有為乃、成木 智恵子
バリアフリー総合研究所	島田 哲明、橋場 重彦
白山市 障害福祉課	見定 浩則

[チェック内容]

1. 松任駅

i. 北口エレベーター

- ・案内板が北口エスカレーター近くにしかなく、設置場所が分かりにくい。
- ・音声案内装置、案内板の増設等配慮してほしい。



ii. バス停

タクシー乗り場

- ・段差が高く、タクシーとの距離の関係もあり、乗車しづらい。また、車道へ降りてしまうと、車いすでは歩道側へ帰れなく、遠く回らねばならぬ。



iii. 通路の段差

- ・車いすを利用していると5mm程度の段差なら何とか走行できる。

iv. 南口トイレ

- ・トイレの鏡が大きく使いやすい。
(手洗いは、車いす用がもう1台あると便利なのだが。)



2. 松任城址公園

i. トイレ

- ・車いす利用者にとっては、便器と手洗いの距離が少し短く使いづらい。
 - ・鏡が高く、車いす利用者には使えない。
 - ・手洗いの高さが少し低く使いづらい。
- (注)手洗いが外れかかっているので修理されたい。



3. 松任文化会館

i. 屋外スロープ

- ・路面のタイルがはがれて危険である。



ii. 1F 受付事務室

- ・事務室内の受付カウンターの高さは、高く、また、前面の通路幅は狭いので、次期の改修工事の時には改善してほしい。
- ・事務室、廊下のPタイルは、車いすで走りやすい。最近の建物では、カーペットを使用したりしているの、まっすぐに進みにくいことがある。



4. 中町商店街

i. 歩道

- ・視覚障害者誘導用ブロックが車道との交差をする地点で、車止めとのぶつかりを避け、曲げながら歩道境まで敷設されている。出来れば「安全で、できるだけ曲がりの少ないシンプルな道すじ」を確保してほしい。当該地区の事例の曲がりは、いかなる理由によるものか？



5. 白山市松任学習センター

i. 駐輪場

- ・視覚障害者誘導用ブロックの歩道境の分岐部に多くの自転車が駐輪され、その使命を阻害している。自転車利用者、施設管理者への注意喚起をお願いしたい。



ii. 視覚障害者誘導用ブロック

・松任駅方面からの視覚障害者誘導用ブロックが遠まわり過ぎる。



iii. 図書館内のトイレ

・図書館内の多機能トイレ内に温風を吹き出すクリーン・ドライヤー、または、手拭き用ペーパータオルの設置が出来ないか？



以上